



東北農政局
阿武隈土地改良
調査管理事務所

阿武隈だより

A b u k u m a D a y o r i

2021. 3 第47号



荒川桜づつみ公園（福島市）

福島市の荒川沿いの公園で約1km、220本の桜並木があり、多くの人々の憩いの場となっています。

手前は農業用水としても活用されている古荒川、奥は吾妻連峰。

menu

□土地改良区理事長訪問＜母畑土地改良区＞

□阿武調情報

- ・令和3年度より「母畑地区」、「雄国山麓地区」において国営事業が新規着工
- ・国営施設応急対策事業「名取川地区」、「角田地区」の実施状況
- ・広域農業基盤整備管理調査「会津宮川地区」、「隈戸川地区」の概要
- ・流域治水の取組について
- ・国営造成施設の重要インフラ対策について
- ・直轄管理事業「羽鳥ダム」の取組について

□地域情報

- ・活躍している営農・販売団体のご紹介
＜今回は会津地区と角田地区をピックアップ＞

農林水産省

土地改良区理事長訪問

母畑地区土地改良区

理事長 くるま **車** だ **田** つぎ **次** お **夫**



◇プロフィール◇

- 生年月日 昭和11年8月7日
- 出身地 福島県石川郡玉川村
- 略歴 玉川村村長就任 昭和62年4月
土地改良区副理事長就任 昭和62年9月
土地改良区理事長就任 平成2年11月
玉川村村長退任 平成19年4月
- 趣味 スポーツ（野球、ゴルフ）、読書
〈座右の銘〉「誠実」

日頃より、母畑地区土地改良区の事業運営に多大なるご支援を賜り深く感謝申し上げます。

当地区の基幹的な農業水利施設、農業生産基盤を次世代に継承していくため、令和3年度より国営施設応急対策事業に着手することになりました。これまでの取組についてご報告し、事業化に向けてご尽力下さいました関係機関の皆様方に御礼申し上げます。

◇前歴事業の概要

昭和初期、母畑地区の低位部は水田として利用されておりましたが、その殆どの区画は狭小・不整形でした。そして、用水は溪流とため池からを中心とした脆弱な水利状況のため慢性的な水不足に見舞われておりました。また、高位部は一部畑地として利用されておりましたが、水資源に乏しく多くは山林原野として放置されておりました。

こうした中、昭和33年に福島県南部を襲った大旱魃を契機として水資源の開発及び農地開発と既耕地の整備に対する機運が高まり、千五沢ダムの新設及び国営総合開拓パイロット（総合農地開発事業）として事業が採択され昭和44年度に着工しました。その後、畑作振興を目指し地区面積を拡大した第1回計画変更、農業従事者の高齢化や米の一部輸入自由化等による農業離れにより地区面積を縮小した第2回計画変更、地区面積の縮小により空容量が生じた千五沢ダムの有効活用を図った第3回計画変更を経て平成9年度に事業は完了しました。

◇施設の維持管理

母畑地区土地改良区は、前歴事業完了後施設の善良

な管理に取り組んできたところですが、多くの施設が造成後30年以上経過し、用水路においては管水路の破損により漏水する不測の事態が頻発しているほか、経年的な劣化により千五沢ダムの取水施設は鋼構造物の腐食や摩耗、管理設備の故障等施設の性能低下が生じており、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しており、新たな対策事業を検討せざるをえない状況となっておりました。

◇国営施設応急対策の実施に向けて

しかしながら、本地区の農家は、福島第1原発事故による風評被害に加え、近年の米価の低下傾向により農業収入は減少傾向にあり、組合員に新たな負担をしていただくのは極めて厳しい状況でありました。

そこで、平成26年度に太陽光発電施設を設置し、地区内の維持管理費用の軽減を図り、国営施設応急対策事業の農家負担軽減の一助とすべく取り組んできたところです。

この度、令和3年度より国営施設応急対策事業に着手し、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を目指します。

今後とも費用対効果を鑑みながら施設の長寿命化を図り、組合員に最大の利益をもたらすよう最大限努力していきたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と今後のご活躍をお祈りいたします。

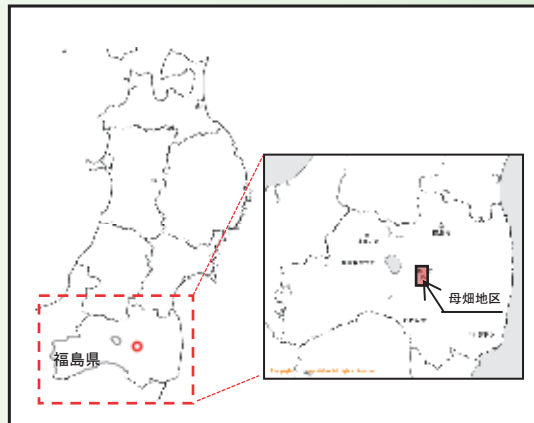
阿武調情報

令和3年度より
国営事業が新規着工

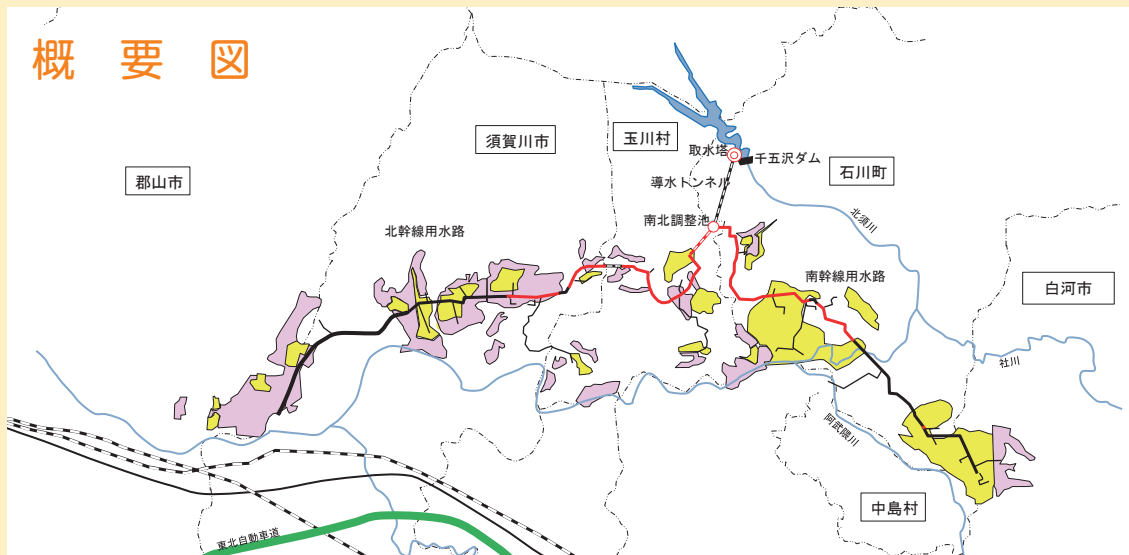
○国営施設応急対策事業「母畑地区」の事業概要

母畑地区は福島県石川町他3市2村に位置する農業地帯です。本地区の基幹的な農業水利施設は、国営母畑土地改良事業（昭和42年度～平成9年度）により造成されましたが、南幹線用水路においては、管水路の破損により漏水する不測の事態が発生しているほか、経年的な劣化により、千五沢ダムにおいては取水設備の鋼構造物の腐食や摩耗、管理設備の故障、用水路においてはゲート設備や管水路の腐食等による施設の性能低下が生じており、農業用水の安定供給や施設の維持管理に支障を来しています。

このため、本事業では、これらの施設機能を保全するための整備を行うものです。



概要図



【千五沢ダム取水塔】



【営農状況】



【きゅうり】

地区概要

関係市町村	福島県郡山市、白河市、須賀川市、中島村、石川町、玉川村
受益面積	1,965ha（田900ha、畑1,065ha）
予定工期	令和3年度～令和9年度
主要工事計画 （改修）	千五沢ダム（取水塔、ゲート設備、管理施設） 一式 導水トンネル（南北調整池）（ゲート設備、附帯施設） 一式 北幹線用水路（トンネル、管水路） 一式 南幹線用水路（管水路） 一式
総事業費	35億円（令和元年度単価）

阿武調情報

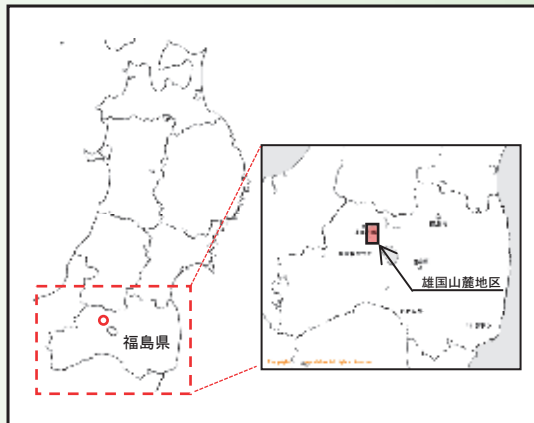
令和3年度より
国営事業が新規着工

○国営施設応急対策事業「雄国山麓地区」の事業概要

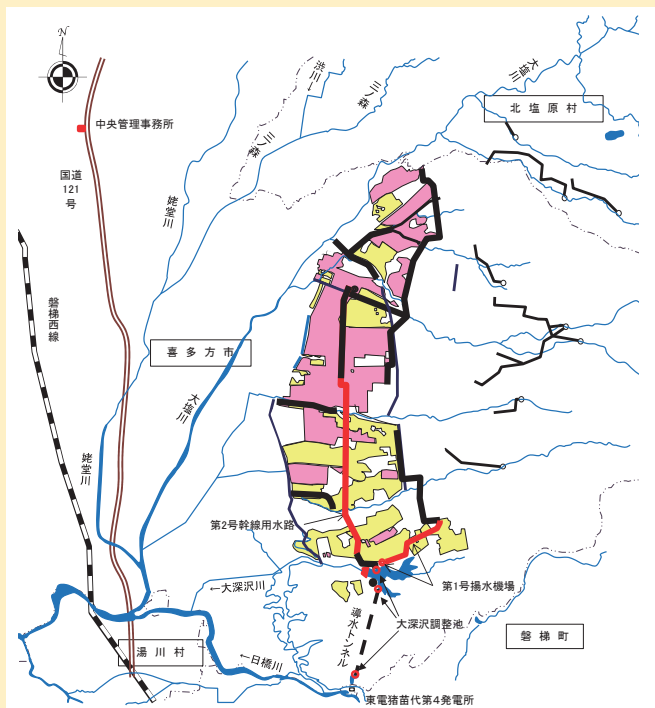
雄国山麓地区は福島県喜多方市に位置する農業地帯です。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営雄国山麓土地改良事業（昭和45年度～平成4年度）により造成されましたが、第1号揚水機場においてポンプが緊急停止する不測の事態が発生したほか、大深沢調整池及び第1号揚水機場では鋼構造物の腐食、電気設備や機械設備の故障、第2号幹線用水路では管水路の腐食、水管理施設では遠方監視制御設備の故障など性能低下が生じており、農業用水の安定供給や施設の維持管理に支障を来しています。

このため、本事業では、これらの施設機能を保全するための整備を行うものです。



概要図



【雄国山麓地区全景】



【アスパラガス】



【大深沢調整池】

地区概要

関係市町村	福島県喜多方市（1市）
受益面積	542ha（田298ha、畑244ha）
予定工期	令和3年度～令和8年度
主要工事計画 （改修）	大深沢調整池（余水吐、取水施設、管理施設） 一式 第1号揚水機場（ポンプ、原動機、附帯施設、建屋） 一式 第2号幹線用水路（管水路） 一式 水管理施設（中央管理事務所、遠方監視制御設備） 一式
総事業費	19億円（令和元年度単価）

阿武調情報

○国営施設応急対策事業（耐震対策一体型）「名取川地区」の実施状況

名取川地区は、宮城県のほぼ中央に位置し、仙台市、名取市及び岩沼市にまたがる2,653haの水田地帯であり、水稲を中心に、水田の畑利用による大豆、六条大麦、はくさい等を組み合わせた農業経営を展開しています。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営名取川土地改良事業（昭和42年度～昭和60年度）により造成されましたが、名取川頭首工においては、電気設備の不具合やゲート開閉装置の故障によるゲート操作が不能となる不測の事態が発生するとともに、躯体のひび割れや摩耗等による施設の性能低下が生じています。

このため、平成28年度～令和3年度に掛けて名取川頭首工の機能を保全するための整備と耐震化のための整備を一体的に行い、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減並びに大規模地震の発生に伴う被害の防止又は軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することとしています。

- 関係市町村：宮城県仙台市、名取市、岩沼市
- 受益面積：水田 2,653ha
- 予定工期：平成28年度～令和3年度（6年間）
- 事業費：21億円（H26年度単価）
- 主要工事：名取川頭首工

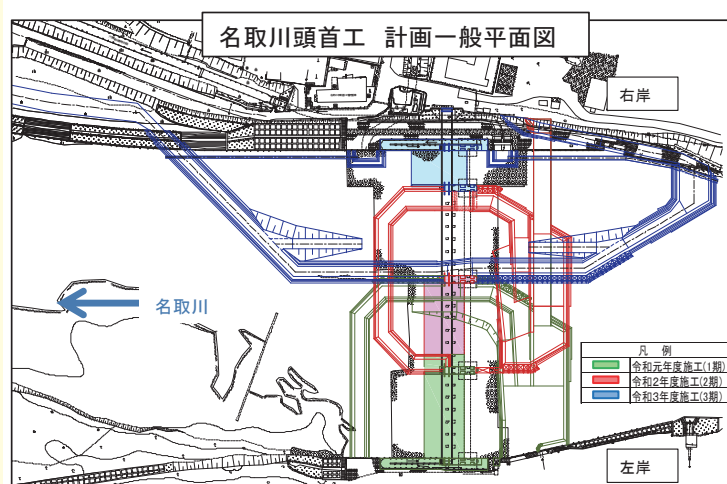


【名取川地区事業位置図】

【工事計画】

名取川頭首工の改修工事は、平成29年度～平成30年度に予備ゲートの格納庫や管理棟、及び河川内の仮締切を設置せずに施工が可能な施設（堰柱耐震補強、右岸取水工ゲート、右岸非常用ゲート等）の整備を行いました。

令和元年度～令和3年度は、河川内で仮締切を設置し、3期に分けて頭首工の躯体、ゲート等の改修工事を実施しています。



【令和2年度の工事実施状況】



【仮締切工完了_R2.11.26】



【ゲート仮囲い設置状況_R2.12.21】



【国営事業促進協議会の現場視察_R2.10.22】

促進協議会会長、山田名取市長

阿武調情報

○国営施設応急対策事業「角田地区」の実施状況

角田地区は、宮城県南部に位置する角田市の2,737haの農業地帯で、地区内では水稻を中心に野菜、果実等を組み合わせた農業経営が展開されており、近年はきゅうり、ねぎ等の高収益作物の栽培が盛んです。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営角田土地改良事業（昭和59年度～平成7年度）により造成されましたが、江尻排水機場においては、電気設備の故障により主ポンプが緊急停止する不測の事態が発生し、湛水被害が生じるとともに、コンクリート構造物のひび割れや摩耗、除塵機設備の故障等による施設の性能低下が生じています。更に、大規模地震が発生した場合、施設が破損し、地域に甚大な被害を及ぼす恐れがあります。このため、本事業では、施設機能の保全と耐震化のための整備を一体的に行うことにより、施設の維持管理の費用と労力の軽減及び施設の長寿命化を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を目指します。

- 関係市町村：宮城県角田市
- 事業費：59億円（H29年度単価）
- 受益面積：水田 2,737ha
- 主要工事：江尻排水機場
- 予定工期：令和元年度～令和8年度（8年間）



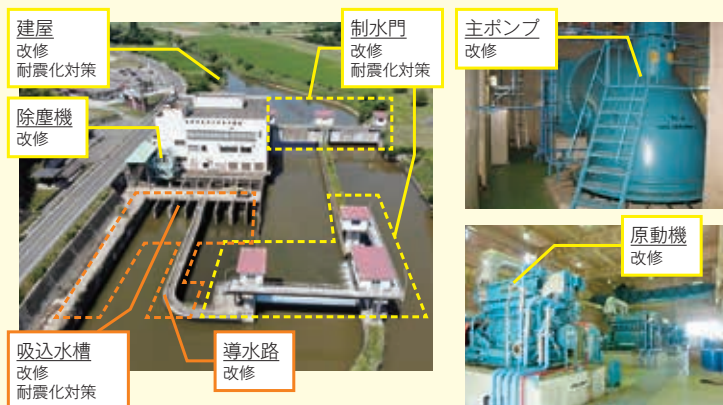
【角田地区事業位置図】

【工事計画】

江尻排水機場において、令和2年度にエンジン室天井鉄骨補強工事と屋上防水工事を行いました。

令和3年度からは、除塵設備の改修及び導水路の補修工事に着手し、令和4年度以降は、ポンプ設備工事及び制水門工事を予定しています。

施設を供用しながら、改修・耐震化対策を進めるため、円滑な事業推進にご協力願います。



【令和2年度の工事実施状況】



【建屋耐震化対策】



【鉄骨工事作業状況】



【建屋改修】防水工事作業状況

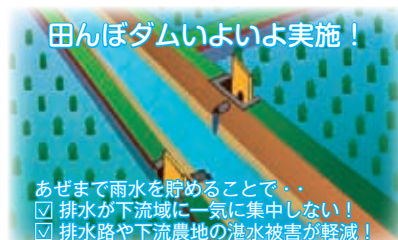
排水機能強化へ向けた検討 (ICTモデル事業の実施)

【令和元年台風19号の被害と今後の検討】

各地に大きな被害をもたらした令和元年台風19号により、本地区においても、公共土木施設、農地・農業用施設等に大きな被害が生じました。

江尻排水機場（ポンプ4台、総排水量62m³/s）では、土地改良区職員による排水作業が5日間続き、総排水量は約21,000千m³、塵芥量は約90tとなりました。

台風被害を踏まえ、「大雨時の水位上昇傾向を把握した流出調整」と「一元的な排水施設の遠方操作」により、効果的な排水管理を実現できるよう、ICT活用による施設整備を検討しています。



田んぼダムいよいよ実施！

- あぜまで雨水を貯めることで・・・
- ☑ 排水が下流域に一気に集中しない！
- ☑ 排水路や下流農地の湛水被害が軽減！

田んぼの「水を貯める能力」を利用し、一時的に水を貯めて洪水被害を軽減する取り組み。

阿武調情報

○広域農業基盤整備管理調査「会津宮川地区」、「隈戸川地区」の概要

令和3年度より、「会津宮川地区」及び「隈戸川地区」において、将来の国営事業化を目指して、調査計画を本格化します。国営土地改良事業の事業化に当たっては、調査計画の進捗状況に応じて、地域農業の現況把握、関係市町村、県やJAの農業振興構想との整合性の確認、導入作物の作付面積の設定、受益農家の意向把握等、地域の目指す営農の方向性や可能性について幅広く検討していく必要があります。関係者の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

○会津宮川地区の概要

本地区は、福島県の西部に位置し、会津美里町外1町にまたがる約4,400haの農業地帯です。水稻を中心に、そば、大豆などの土地利用型作物、アスパラガス、きゅうりなどの野菜、柿、りんごなどの果樹を組み合わせた農業経営が展開されています。

しかしながら、①近年の気象状況の変化等による用水不足、②畑地かんがい施設が未整備、③米依存の営農体系から野菜等の高収益作物を中心とした営農体系への転換が必要といった課題があり、これらの課題解決に向けて検討していきます。



○隈戸川地区の概要

本地区は、福島県の南部中央に位置し、白河市外1市2町3村にまたがる約3,200haの水田地帯です。水稻を中心に水田畑利用による大豆や、きゅうりなどの野菜のほか、畜産を組み合わせた農業経営が展開されています。

しかしながら、①近年の気象状況の変化等による用水不足、②地区内の非効率な水利用、③将来の営農を踏まえた施設計画、④施設の維持管理といった課題があり、これらの課題解決に向けて検討していきます。



阿武調情報

○会津宮川地区における営農推進の検討

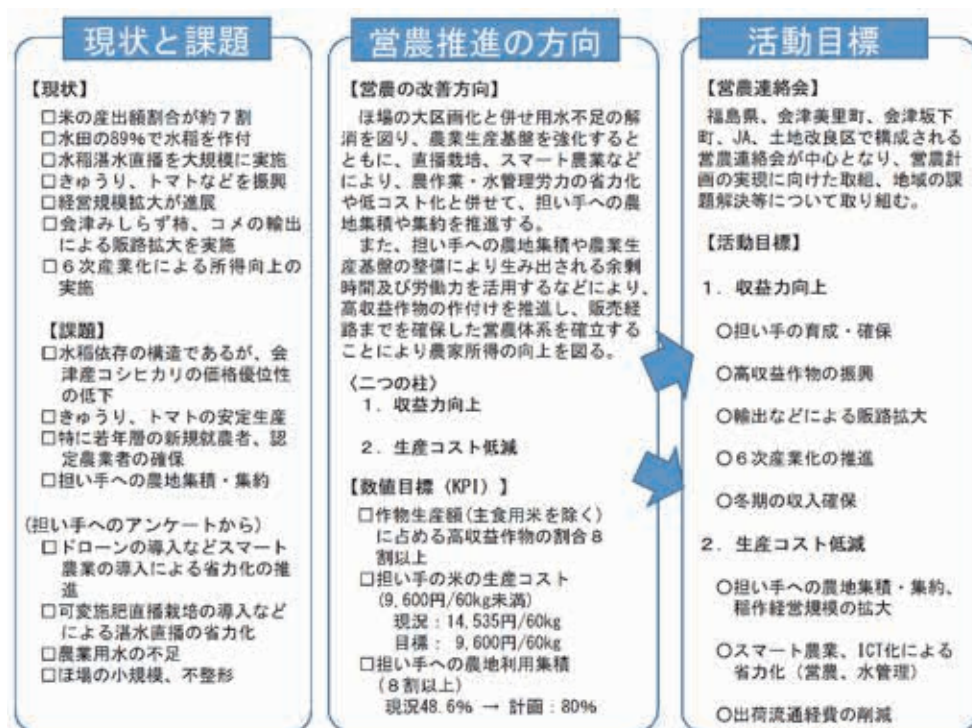
これまで、施設の整備構想と並行して営農構想を検討し、事業実施地区における営農計画を策定してきましたが、会津宮川地区においては、施設の整備構想の検討を始める前段で、土地改良区を中心とした地元関係機関により営農推進に関する検討会を開催しています。

<国営会津宮川地区営農推進連絡会の開催>

令和2年11月17日（火）、会津宮川土地改良区において、県会津農林事務所会津坂下農業普及所、会津坂下町、会津美里町、JA会津よつば、会津宮川土地改良区、阿武隈土地改良調査管理事務所の参集により開催されました。地域農業の現状・課題について情報共有した後、次期事業の実施に向けた営農推進の方向性と実現のための行程表、今後の活動目標について意見交換し、収益力向上と生産コスト削減の取組を進めることを確認しました。また、今後は冬期の農業収入の確保についても検討していくこととしました。



<会津宮川地区 営農構想の骨子>



【営農推進連絡会の様子】

<今後の展望>

営農推進に関する検討は始まったばかりですが、今後は、国営事業化を見据えた調査計画の進捗に合わせて、適宜、内容を見直しつつ、営農実態や地元意向を踏まえた検討を進めていくとともに、現行の検討体制を拡充して関係機関及び受益農家の参画による営農部会を設立する等、実効性のある営農計画の検討をさらに深化させていくこととしています。

阿武調情報

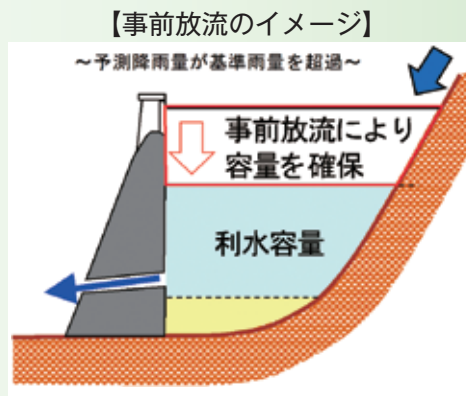
○流域治水の取組について

○農業用ダムの洪水調整機能の強化

令和元年10月の台風19号等による甚大な被害を受け、「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」（令和元年12月12日既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議（内閣官房設置）決定）が示され、この基本方針に基づき、河川について水害の発生の防止等が図られるよう、水系毎に治水協定を結ぶこととなりました。

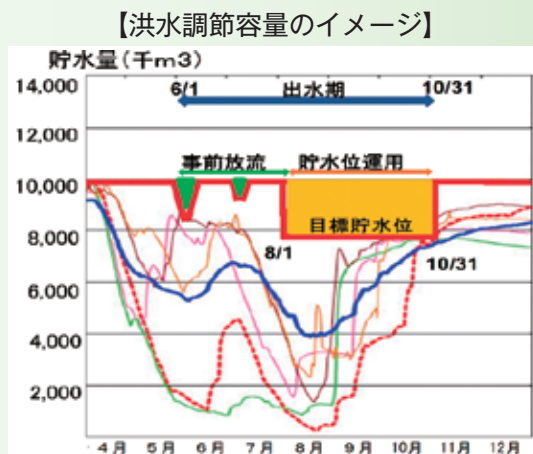
阿武調管内では、令和2年5月29日に河川管理者、ダム管理者及び関係利水者により「治水協定」が締結されました。治水協定には、大雨が予想された場合に、あらかじめダムの水位を低下させる「事前放流」の実施方針と期間を定め一定の貯水位以下に管理する「貯水位運用」等が規定されています。

ダム管理者をはじめ関係者の皆様におかれましては、令和3年度以降の取組につきまして、引き続き、ご協力をお願いします。



ダム名	有効貯水量 (千m ³)	洪水調節可能容量		
		最大値* (千m ³)	貯水位運用	
			(千m ³)	期間
千五沢	11,600	9,100	640	9/1~10/31
西郷	3,064	1,650	1,650	8/16~9/15
羽鳥	25,951	3,859	3,859	9/11~10/31
大深沢	250	208	46	9/11~10/31
新宮川	9,300	3,300	3,300	9/11~10/31

※事前放流量は最大値の内数です。



○流域治水プロジェクト

骨太方針2020（令和2年7月17日閣議決定）において、防災・減災、国土強靱化の対応として「流域治水」が位置づけられました。河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策として進めることが必要とされ、各一級水系において「流域治水協議会」を設置し、「流域治水プロジェクト」として取り組むこととしています。

阿武調では、以下の3つの協議会に参画し、各協議会で流域治水プロジェクト等がとりまとめられました。

- ◇名取川・阿武隈川下流等流域治水協議会
- ◇阿武隈川上流流域治水協議会
- ◇阿賀野川水系（阿賀川）流域治水協議会

流域治水の対策には、利水ダム、農業用ため池、排水施設、田んぼダムの活用といった多面的機能の発揮等に関する内容が含まれており、農林水産省（阿武調）としても積極的に推進することとしています。

水田の活用（田んぼダム）

○ 田んぼダム（排水口への堰板の設置等による流出抑制）によって下流域の洪水被害リスクを低減。



阿武調情報

○国営造成施設の重要インフラ対策について

○重要インフラ対策

近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、特に緊急に実施すべき対策として、「防災・減災、国土強靱化対策のための3か年緊急対策」（平成30年12月14日閣議決定）が実施されました。阿武調管内では、以下の早急に対策が必要な農業水利施設について、非常時においても機能を確保するために必要な整備を行っています。

施設名	目的	対策内容
金沢調整池 (郡山東部地区)	非常時にシステム全体がダウンし復旧が困難となる恐れを回避するため、演算装置を二重化し、監視や操作機能の確保を図り二次被害の発生を防止する	水管理設備の演算装置二重化整備
日中ダム (会津北部地区)	非常時の電力喪失により、監視や操作が不能となる恐れを回避するため、非常用発電設備の整備を行い二次被害の発生を防止する	連続稼働時間（72hr）可能な非常用発電設備の整備
大深沢調整池 (雄国山麓地区)	放流警報設備を機側操作から遠方操作が可能な設備に整備することで、非常時に速やかな情報伝達を行い二次被害の発生を防止する	放流警報設備の遠方操作機能整備
羽鳥ダム (隈戸川地区)	洪水時等の激しい水位変動の状況でも、的確な流況を継続的に把握するため、水位計改修及び洪水吐の補修を行い、更なる適正な管理を行う	ダム観測設備改修及び洪水吐の補修
新宮川ダム (会津宮川地区)	非常時にシステム全体がダウンし復旧が困難となる恐れを回避するため、演算装置を二重化し、監視や操作機能の確保を図り二次被害の発生を防止する	水管理設備の演算装置二重化整備
西郷ダム (阿武隈川上流地区)	非常時の電力喪失により、監視や操作が不能となる恐れを回避するため、非常用発電設備の整備を行い二次被害の発生を防止する。また、自動観測設備の整備を行い非常時にダム流入量、放流量等を速やかに把握し、更なる適正な管理を行う	非常用発電設備の新設及び観測設備の整備



【放流警報設備の整備（大深沢）】



【非常用発電設備の整備（西郷、日中）】



【水管理設備演算装置の二重化（金沢、新宮川）】



【水位計の改修（羽鳥）】

阿武調情報

○直轄管理事業「羽鳥ダム」の取組について

羽鳥ダムは、国営白河矢吹開拓建設事業（昭和16年度～39年度）により築造されたフィルダムで、昭和25年に着工し昭和31年に完成。約2,600万 m^3 のかんがい用水を貯水し、約3,000haの農地に供給しています。

阿賀野川水系から阿武隈川水系へ流域変更を行うことにより、福島、新潟の2県にまたがって、利水及び治水が関連し、その管理に高度な技術と調整を要することから、国で管理しています。



【取水口】



【ダム本体】

【羽鳥ダムの管理状況】

羽鳥ダム管理所では、ダム設備の基幹となる取水・放流施設の機械関係、及び管理用制御機器等の保守点検業務、並びに堤体変位測定、貯水内堆砂量調査など、幅広い管理業務を24時間体制で行っています。

ダム管理設備（管理用制御装置、取水・放流設備等）については、施設の老朽化状況を見ながら、計画的に施設更新を行っていく必要があります。

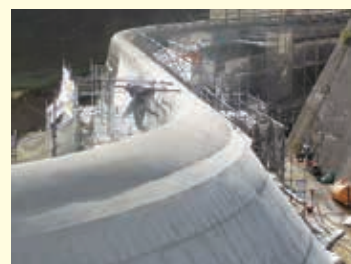


【取水施設】

【近年の施設の整備状況】

羽鳥ダムの洪水吐コンクリートは、表面の劣化・欠損の他、継目・連続したひび割れから広範囲の連続した漏水が確認されている状況で、機能診断調査の結果からも補修の必要性が確認されました。

このため、ダムの貯留機能の確保、ダムの安定性、安全性の確保を図るため、H31年度から洪水吐の改修工事を実施しています。



【洪水吐の工事状況】

【羽鳥ダムの多面的機能】

台風19号による豪雨では、約700万 m^3 （東京ドーム約5.7杯分）、ピーク流量で218.5 m^3/s をカットする洪水調節機能を発揮し、下流域の安全確保に大きく貢献しました。近年想定外の豪雨による洪水被害に対して、事前に貯水位を低下させておくなど、農業用ダムの洪水調節機能の強化にも貢献しています。



【台風19号時貯留状況】

羽鳥ダムは、農業生産に大きな役割を果たすととともに、地域社会にとっても極めて重要な社会資本です。羽鳥ダムにより誕生したダム湖は「羽鳥湖」の愛称で親しまれ、地域住民はもとより、四季を通じて訪れる観光客のやすらぎの場となっています。

直轄管理事業による公的管理のもと、適正な管理を行い、後世にしっかり引き継いで参ります。

地域情報

活躍している営農・販売団体のご紹介
 <角田地区をピックアップ>

令和元年度
 地産地消等優良活動表彰
 東北農政局長賞受賞
 (生産部門)



平成20年2月、12人の専業農家の出資により設立。伝統食「ずんだ」の原料として最適な「秘伝豆」の生産を拡大。地域の食品製造業者に販売するほか、自社加工施設において「ずんだシェイク」や「ずんだコロッケ」等、原料の大豆はすべて「秘伝豆」を使用した加工食品を製造し、直売所「産直広場あぐりっと」で販売。直売所の取扱金額は年々上昇しています。また、採れたての「秘伝豆」をその場で釜茹でして一般消費者に販売し、「秘伝豆」の魅力を発信するほか、友好都市（東京都目黒区）の消費者らに野菜などの詰め合わせを「ふるさと便」として届けるなど、都市と農村の交流を行っています。

農福連携
 (農業分野において
 障害者就労を推進)

がぎゅうベーカリー



2006(平成16)年5月に開業。2020年6月には現在の角田市江尻地区「工房にじいろ」内に移転オープンしました。パンは純国産小麦「ゆきちから」を100%使用し、添加物をなるべく使わない手作りの味が決め手です。純国産小麦「ゆきちから」は、粒が通常的小麦よりも硬く、タンパク質が高いという特性を持っているため、パン作りにとっても適した小麦です。人気の商品とあって、お昼にはほぼ売り切れの時もあるそう。また店内には田園から蔵王をのぞむイートインスペースもあり、ゆっくりと楽しめます。同じ敷地内の加工場では、角田市ほか県南地域の農産物を使ったジャムやジュース、調味料などの加工品作りに取り組み、店舗のほか社会福祉法人臥牛三敬会虹の園、道の駅かくだで販売しています。

平成29年度
 東北農政局
 土地改良事業地区
 営農推進功労者表彰

角田健土農場

【減農薬減化学肥料栽培によるこだわりの米「健土米」】

【ドローンによるセンシング技術の実証スタート
 (生育状況マップ化、追肥調整)】



有限会社角田健土農場は地区の有志4戸で設立され、担い手の立場から積極的に水利施設整備事業及び農地耕作条件改善事業に関わり、近隣地域約200戸の農地、約100haの受け皿となっています。

分散した農地を農地中間管理事業を活用し担い手間の利用調整を図るとともに、農地耕作条件改善事業により区画拡大と集約化を進め、また、農地集積のために地域の話し合いを主導し、事業へ取り組む機運を高めるなど地域の農地集積に貢献しています。

作期の異なる12品種の水稻を計画的に作付けし、作業を分散させ、効率的な生産体系を追求。さらに、県南地域第1号のエコファーマー認定を受け、たい肥施用による減農薬・減化学肥料のこだわりの米「健土米」の直接販売にいち早く取り組み、生産から販売まで自社で行っています。また、2019年からASIA GAPの認証を受け継続しています。

NEW
 FACE!

飛躍Show



県営尾袋川東地区土地改良事業を契機に同地区内の新たな担い手として、若手の農業者ら3人が株式会社飛躍Show(ヒャクショウ)を令和3年1月18日に設立しました。

経営理念は「正直に作物を育て消費者に笑顔を咲かせる。地域農業を後世に引き継ぐ農と脳を育む」。地域農業を守るため将来的には地域の農地200ヘクタールを借入し、売れる米づくり、スマート農業の導入、タマネギ、菌床キノコ栽培など高収益作物への取り組み、後継者の育成などを計画しています。

地域情報

活躍している営農・販売団体のご紹介
 <会津宮川地区をピックアップ>

会津美里町の大越さんご夫妻

<第61回福島県農業賞（農業十傑）を受賞>

令和2年9月9日（水）、福島市の杉妻会館において、第61回福島県農業賞の表彰式が開催されました。

今回の福島県農業賞（農業十傑）では、県内で農業を営む数多くの農業者から、大沼郡会津美里町にお住まいの大越洋一さん・晴子さんご夫妻が、最高賞の農林水産大臣賞に選ばれました。

<複数の作型を組み合わせたキュウリ生産>

35aの農地でキュウリを生産するご夫妻は、長年、キュウリ栽培技術の確立にご尽力され、半促成栽培（5月～7月下旬）や雨よけ長期栽培（6月下旬～11月）、抑制栽培（8月下旬～11月）を組み合わせて切れ目の無い長期の出荷体制を構築しています。

生産に当たっては、自動かん水装置や自走式防除機を導入して営農の省力化を図るとともに、苗は購入によらず自ら育苗・接ぎ木を行い、共同選果場の利用を出荷ピーク時に限定するなどコスト削減に努め所得の向上を実現しています。

また、故郷にUターンしたご長男夫妻が就農し、後継者とともに家族経営で取り組むキュウリ生産は、近年、JA会津よつばみどり地区キュウリ部会でトップクラスの出荷量と販売額を誇っており、これらの取組が農業経営改善部門での受賞、さらには同部門から選出される農林水産大臣賞の受賞となりました。



【自慢の逸品を収穫するご夫妻】

<水田農業の展望>

キュウリ生産の他、作業受託等で11haの水田を耕作し地域農業の担い手として活躍する大越さんは、会津美里町内で調査中のほ場整備事業（農業競争力強化農地整備事業）「雀林地区」の推進委員を務めています。この事業で区画整理と水路のパイプライン化が図られることにより、水稻栽培の省力化とともに、畑作物の導入と給水栓によるかん水にも期待を寄せています。



【匠の技は次世代へ継承】

～産地の概況～

夏秋キュウリの指定産地である会津美里町は、全国有数の出荷量を誇る福島県の中でも、平成30年の出荷量が7位にランクされる主要な産地です。

国営会津宮川土地改良事業等で整備された施設により農業用水が供給され、水稻の他、野菜や果実など多様な農業生産が展開されています。

阿武調からのお知らせ

◆阿武調では、平成30年から国営完了地区の施設管理のフォローアップを所掌する権利保全・財産管理の担当者が配置されています。施設用地や権利設定等に関する問題、お悩み等ありましたら、お気軽にご相談下さい。

◆地域の農産物と農業水利施設（水の恵み施設）を分かりやすく紹介する『水の恵みカード』の取組を推進しています。各地域の団体がカードを作成し、PR資料として活用されることを期待した取り組みです。『水の恵みカード』作成を希望される方は、阿武調まで問い合わせください。

「水の恵みカード」完成イメージ

【令和2年度に作成した阿武隈川上流地区のカード】

編集後記

- ◇紙面作成にあたり、母畑地区土地改良区の車田理事長におかれましては、ご協力いただき大変ありがとうございました。
- ◇令和2年度は、コロナ禍の中での制約された1年となり、年度当初は、各地区へお伺いする機会を制限されるなど、それぞれ密な対応ができませんでした。また、年度末の令和3年2月には福島県沖地震があり、各地区においては対応に追われながら、かんがい開始に向けて準備を進めていることと思います。阿武隈におきましても緊急取水への対応など、令和3年度の作付けに支障が生じないように鋭意支援してまいります。
- ◇今後も皆さまのご協力をいただきながら農業農村の持続的な発展に尽くしていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

所在地・連絡先

阿武隈土地改良調査管理事務所



〒960-0241 福島県福島市笹谷字稲場38-7
TEL 024-555-3780 FAX 024-555-3783

羽鳥ダム管理所



〒962-0623 福島県岩瀬郡天栄村大字羽鳥字水上5-1
TEL 0248-84-2211 FAX 0248-84-2702

角田支所



〒981-1505 宮城県角田市角田字中島下458
(あぶくま川水系角田地区土地改良区2F)
TEL 0224-86-5150 FAX 0224-62-5088

名取支所



〒981-1266 宮城県名取市植松字錦田84-1
(名取土地改良区2階)
TEL 022-381-6733 FAX 022-381-6734



咲かそう！笑顔のむらづくり

私たちが住む里は、いつまでも美しくたくましく人々とともに息づいて欲しいとの願いをシンボルマークに託しました。さんさんと輝く太陽のイメージは、希望と優しさ、そして実り豊かな大地のカタチを表しています。太陽の中には笑顔を配し、美しく豊かな自然に生きる人々をシンボライズしています。

編集
発行

阿武隈だより 第47号 令和3年3月 発行
東北農政局 阿武隈土地改良調査管理事務所 URL : <http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/abukuma/>



食べて応援しよう!

被災地を応援

農林水産省



食材王国みやぎ

検索

食べて応援しよう

検索

このパンフレットは環境に優しい再生紙を使用しています。